

湯来温泉・湯の山温泉  
国民保養温泉地計画書

令和6年3月

環境省

## 目次

1	温泉地の概要	1
2	計画の基本方針	3
3	自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	3
	(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要	3
	(2) 取組の現状	5
	(3) 今後の取組方策	5
4	医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	6
	(1) 医師又は人材の配置の状況	6
	(2) 配置計画又は育成方針等	6
5	温泉資源の保護に関する取組方針	7
	(1) 温泉資源の状況	7
	(2) 取組の現状	7
	(3) 今後の取組方策	7
6	温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	8
	(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況	8
	(2) 取組の現状	8
	(3) 今後の取組方策	8
7	温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策	9
	(1) 温泉の公共的利用の状況	9
	(2) 取組の現状	10
	(3) 今後の取組方策	10
8	高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	11
	(1) 公共の用に供する施設の状況	11
	(2) 取組の現状	11
	(3) 今後の取組方策	11
9	災害防止対策に係る計画及び措置	12
	(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況	12
	(2) 計画及び措置の現状	12
	(3) 今後の取組方策	12
	添付	
	国民保養温泉地位置図	13
	国民保養温泉地区域図	14

## 1 温泉地の概要

湯来温泉及び湯の山温泉は、広島市北西部の佐伯区湯来町に位置しており、町の中心部を貫流する太田川水系（一級河川）水内川等が深い谷を刻んで、閑静で豊かな自然に包まれている。

地質は花崗岩を主とし、水内川沿いの湯の山断層線に沿って花崗岩の深い割れ目から温泉が湧き出している。

昭和 30 年に湯来温泉が、昭和 47 年に湯の山温泉が国民保養温泉地に指定されており、平成 3 年には、両温泉が国民保健温泉地に選ばれた。

また、令和 3 年度には 5 省庁の後援で開催された温泉総選挙 2021 で、湯来温泉が総務大臣賞と観光庁長官賞に輝いた。

### 湯来温泉

湯来温泉は、広島市佐伯区湯来町の西側に位置し、緑と溪流に囲まれ、「広島の奥座敷」といわれており、溪流のほとりで傷ついた白鷺が傷を癒しているところを村人が見て発見したと伝えられている。

昭和 41 年に入浴施設や宿泊施設等を備えた「広島市国民宿舎湯来ロッジ」が開設し、平成 21 年にはリニューアルオープンし、同年に開設した「広島市湯来交流体験センター」とともに、湯来地区の観光拠点として、観光の振興に寄与している。

温泉地を流れる水内川の川沿いには桜並木があり、訪れる入湯客を温かく迎え、6 月下旬～7 月中旬にかけては、全国でも珍しい自然繁殖した 3 種類のホタルの飛翔を鑑賞することができる。また、夏場は水遊びをする多くの親子連れで賑わっている。



### ◀ 広島市国民宿舎湯来ロッジ

水内川沿いに建つ国民宿舎で、露店風呂を満喫し、四季折々の自然を堪能できる。食事は湯来の特産品のこんにやくやジビエ等を使用した料理が自慢で、日帰りの休憩も利用できる。

（施設の概要）

開設：昭和 41 年

（平成 21 年リニューアルオープン）

客室（21 室）、売店、レストラン、男女浴室、バリアフリー浴室、多目的ホールなど

### ▶ 広島市湯来交流体験センター

シャワークライミングや登山、テントサウナなどの自然体験プログラムのほか、キャンプや BBQ、クラフトづくりなどを体験できる。

（施設の概要）

開設：平成 21 年

内容：交流体験館、屋外ステージ、工芸室、野外広場など



## 湯の山温泉

湯の山温泉は、同じく広島市佐伯区湯来町の東側に位置し、今から約1,200年前に山肌の岩の間から噴出したと伝えられ、一時噴出が止まった時期もあったが、再噴出し、江戸時代には広島藩主の湯治場として栄えた。

「広島市湯の山温泉館」では、中国地方でも珍しい、地上4mの高さから流れ出る冷たい源泉を浴びることができる打たせ湯が名物となっている。

また、日帰り温泉施設の「広島市クアハウス湯の山」には、打たせ湯、寝湯、かぶり湯などの浴槽、ミストサウナ、25m温泉プール、さまざまなスポーツ器具を備えたトレーニングルームなどがあり、老若男女の交流の場として賑わっている。

なお、湯ノ山明神旧湯治場付近一帯は、昭和49年に、国の重要有形民俗文化財に指定されている。



### ◀ 広島市湯の山温泉館

冷たい源泉を打たせ湯で身体に浴びる体験ができる。

(施設の概要)

開設：昭和49年

内容：男女浴室、休憩室



### ◀ 広島市クアハウス湯の山

水着で入る浴場や従来の浴槽、サウナ、温泉プール、ウォータースライダー、トレーニングルーム等があり、気軽に健康・体力づくりを楽しむことができる。

(施設の概要)

開設：平成6年

内容：採暖浴、温泉プール、寝湯、かぶり湯、歩行浴、うたせ湯、露天風呂、全身部分浴、中温浴、渦流浴、圧注浴、気泡浴、箱蒸し、ミストサウナ、トレーニングルーム、休憩室

### 湯の山明神旧湯治場（国指定重要有形民俗文化財） ▶

湯の山には古くから鉱泉の湧出があり、湯の山明神の霊験の湯として知られてきた。

現在の湯の山温泉館の上段には、旧来の岩崖を掘りくぼめた素朴な湯坪がある。

旧来の湯坪、湯屋、湯の山明神社の諸施設は、当時の姿をよく伝えており、医療とそれまつわる信仰の様相をよく伝えている。



## 2 計画の基本方針

湯来温泉及び湯の山温泉は、古くから湯治場として栄えてきた温泉地であり、初夏の若芽、秋の紅葉、谷川の清流など豊かな自然環境と温泉の効用から保養や療養を目的とした宿泊客も多く訪れている。湯治場としての歴史や文化、風土を大切にしながら、周囲の自然と調和し、保養・休養・療養の場としての雰囲気を残した特色ある温泉地を目指していく。

湯来温泉及び湯の山温泉の豊かな自然環境、地域資源を活用した事業を展開する。

湯来温泉及び湯の山温泉の利用促進に努める。

湯来温泉及び湯の山温泉の閑静な風情を保全する。

湯来温泉及び湯の山温泉の歴史、文化及び風土を継承する。

## 3 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

### (1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

湯来温泉及び湯の山温泉は、渓谷沿いの閑静で豊かな自然に包まれている。

気温は冷涼である。

春の桜並木、新緑の中のハイキング、初夏のホタルの飛翔、夏のシャワークライミング、秋の紅葉狩り、冬の雪景色など四季折々の自然を堪能できる。



▲ しだれ桜



▲ 新緑のハイキング



▲ 秋の紅葉狩り



▲ ホタルの飛翔



▲ 夏のシャワークライミング



▲ 冬の雪景色

また、湯の山温泉地内にある、湯ノ山明神旧湯治場付近一帯は、昭和 49 年に、国の重要有形民俗文化財に指定されている。江戸時代には、広島藩主の湯治場として栄えていた。

山あいの温泉地ならではの名物料理として、上質のコンニャク芋から作られた「山ふぐ」と呼ばれる刺身コンニャク、利き鮎会で過去 4 度準グランプリに輝いた鮎の塩焼き、地元で養殖されているチョウザメ料理、猪鍋などが楽しめる。

その他、神楽団による華麗で躍動感あふれる舞はもちろん、豪華絢爛な神楽の衣装などが楽しめる。



▲ 刺身コンニャク（山ふぐ）



▲ 猪鍋



#### ◀ 水内神楽団

水内神楽団は江戸期天保時代に石見神楽が当時に伝えられて以来、山県系の旧舞・新舞を取り入れながら、その歴史と伝統を現在まで受け継いでいる。昭和 38 年には水内神楽団に伝わる演目「五龍王」が広島県無形民族文化財に指定されている。また、平成 18 年より水内子ども神楽団を発足させ、後継者の育成に努めている。

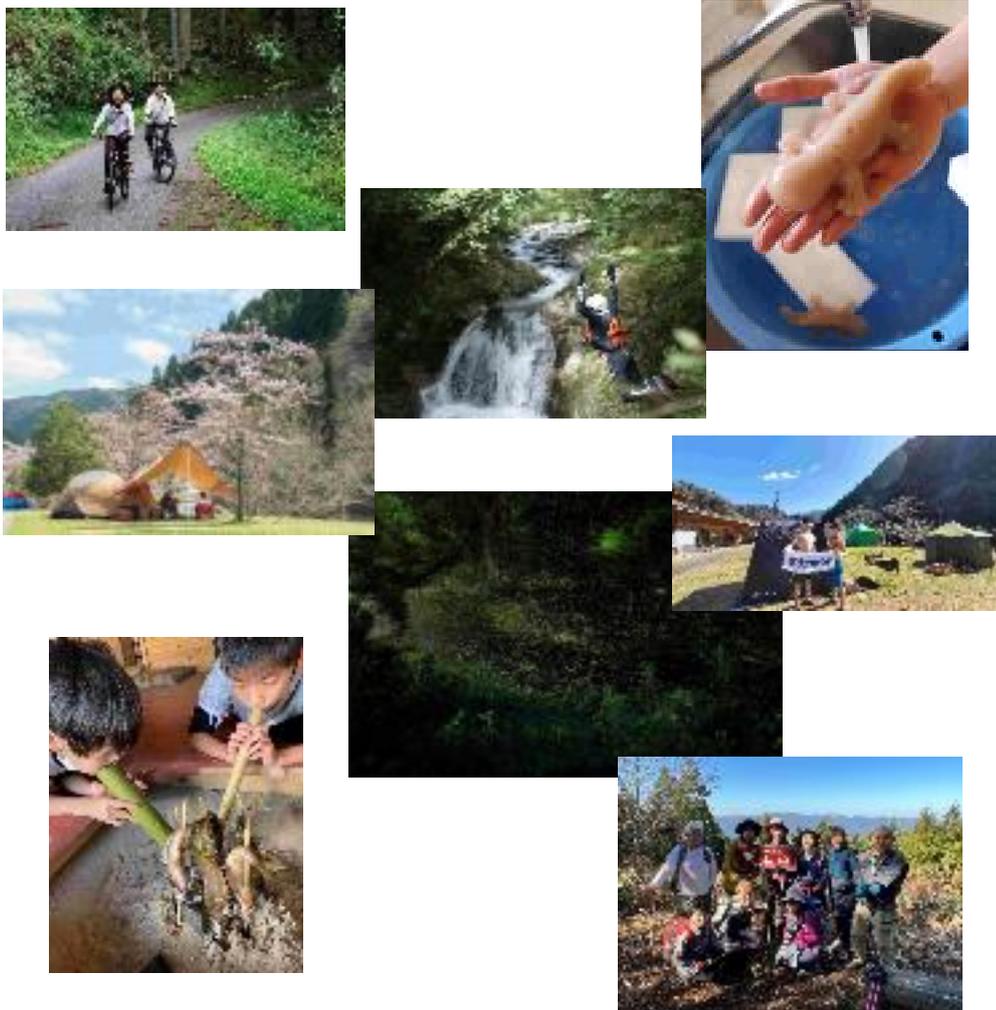
## (2) 取組の現状

広島市基本計画に基づき、「湯来温泉や湯の山温泉を始めとした魅力ある歴史や文化等の地域資源を承継・活用したまちづくり」を進めている。

具体的には、湯来の自然や歴史、特産品、文化財等を活かし、祭りの開催（桜まつりやホテルまつりなど）や修学旅行生等の農山村体験民泊の受入れ、農業、酪農、登山、シャワークライミング等の体験型観光プログラムの活用や充実などに取り組んでいる。

## (3) 今後の取組方策

地元住民・民間事業者等から成る「戸山地域・湯来地域活性化推進協議会」により、当該湯来地域と隣接する戸山地域のエリアイメージや活性化の方向性について、両地域の特長を生かした「戸山地域・湯来地域活性化プラン」が令和4年3月に策定され、このプランに基づいた取組を地域、民間事業者、行政が一体となって進めていくことにより、エリア全体の魅力を向上させ、都市住民の来訪、再訪を促して地元との関係構築を促進し、交流の拡大を図っていくこととしている。



▲ 各種イベント、体験プログラム

#### 4 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

##### (1) 医師又は人材の配置の状況

医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師が配置されているほか、入浴方法等の指導を行う人材については以下のとおりである。

##### 医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
医療法人社団和容会 速水医院 速水環（院長）	内科	勤務する速水医院において、随時、温泉利用に関する相談に対応	昭和 63 年度

##### 人材

資格	人数	医師との連携を含めた活動内容
温泉入浴指導員	1 人	温泉の基礎知識や効果的な入浴方法の指導などについて協力（各区スポーツセンターに所属）
温泉利用指導者	2 人	
健康運動指導士	50 人	

##### (2) 配置計画又は育成方針等

(1) の医師及び人材の配置を継続するとともに、温泉利用を安全かつ適正に実施できるように、温泉入浴指導員の育成等に努める。

## 5 温泉資源の保護に関する取組方針

### (1) 温泉資源の状況

湯来温泉及び湯の山温泉の泉質は、単純弱放射能温泉であり、浴用として使用されているほか、一部飲用としても利用されている。

源泉	湧出状況	湧出量 (L/min)	泉質	温度 ( )	所有者	利用施設
湯来温泉 (旧源泉)	動力 揚水	測定不能 (許可揚湯量 750L/min)	アルカリ性単純 弱放射能温泉	27.1	民間	4 施設
湯来温泉 (新源泉)	自然 湧水	測定不能 (許可揚湯量 1,000L/min)	アルカリ性単純 弱放射能温泉	28.3	広島市	1 施設
湯の山温泉 (旧源泉)	自然 湧水	測定不能 (許可揚湯量 75L/min)	アルカリ性単純 弱放射能冷鉱泉	23.5	民間	3 施設
湯の山温泉 (新源泉)	動力 揚水	測定不能 (許可揚湯量 300L/min)	アルカリ性単純 弱放射能冷鉱泉	23.2	広島市	2 施設

上記施設のほか個人住居での利用あり

### (2) 取組の現状

現在講じている保護に関する取組の状況は、以下のとおりである。

源泉	取組	実施主体
湯来温泉	温泉分析調査を実施(10年に1回程度)貯湯槽の清掃を実施(年1回以上)	広島市、源泉所有者
湯の山温泉	温泉分析調査を実施(10年に1回程度)貯湯槽の清掃を実施(年1回以上)	広島市、源泉所有者

### (3) 今後の取組方策

温泉資源の保護を一層推進するため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するほか、揚湯量、井戸の水位や泉温に異常がないか等を定期的に確認する。

## 6 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

### (1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。

温泉地	源泉数	利用施設までの設備	利用施設数等
湯来温泉	2	引湯管、貯湯槽	4 施設 (上記施設のほか個人住居での利用あり)
湯の山温泉	2	引湯管、貯湯槽	5 施設 (上記施設のほか個人住居での利用あり)

### (2) 取組の現状

湯来温泉及び湯の山温泉において、温泉の利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生面での取組状況は、以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	法令	適宜、温泉分析調査を実施	源泉所有者など
引湯管	自主的	適宜、点検、清掃等を実施	設備所有者
貯湯槽	条例	定期的に清掃等を実施	設備所有者
浴槽	条例	定期的に清掃及び消毒を実施 毎日、浴槽水を換水 塩素系薬剤により浴槽水を消毒 毎年度、浴槽水の水質検査を実施	設備所有者

### (3) 今後の取組方策

今後も温泉を衛生的に良好に保つため、(2)の取組を継続して行う。また、各施設において、衛生管理を徹底する。

## 7 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

### (1) 温泉の公共的利用の状況

湯来温泉は溪流のほとりで傷ついた白鷺が傷を癒しているところに源泉があったと伝えられる温泉で、昭和30年に国民保養温泉地の指定を受けている。緑と溪流に囲まれて、県内外から観光客が多く訪れ、広島県内で最大の温泉地である。

湯来温泉から車で10分の所にある湯の山温泉は、約1,200年前に発見されたと伝えられ、江戸時代には広島藩主の湯治場として栄えた由緒ある温泉で、坂と階段を上ったところにある「広島市湯の山温泉館」には、名物の打たせ湯があり、比較的近傍からの恒常的な入浴客が多い。昭和47年に国民保養温泉地に指定され、昭和49年には、湯の山温泉地内にある湯ノ山明神旧湯治場付近一帯が国の重要有形民俗文化財に指定された。この温泉の歴史と効能を活かした多目的温泉保養館「クアハウス湯の山」は、老若男女の交流の場として賑わっている。両温泉の泉質は、無色透明無味無臭のアルカリ性単純弱放射能泉である。

近年の湯来温泉及び湯の山温泉における温泉利用の状況は、以下のとおりである。

過去3年間の利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	元年度	2年度	3年度
湯来温泉	宿泊	14,266	13,317	8,374
	日帰	101,202	66,857	57,082
湯の山温泉	宿泊	1,562	1,046	834
	日帰	105,534	69,795	54,040
小計	宿泊	15,828	14,363	9,208
	日帰	206,736	136,652	111,122
合計		222,564	151,015	120,330

直近1年間(令和3年度)の月別利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	施設数	総定員	利用者数				
				4月	5月	6月	7月	8月
湯来温泉	宿泊	2	80	811	455	307	830	796
	日帰	4		6,238	3,997	2,193	6,891	3,781
湯の山温泉	宿泊	2	23	82	84	9	46	151
	日帰	5		6,509	4,103	1,982	8,172	4,871
小計	宿泊	4	103	893	539	316	876	947
	日帰	9		12,747	8,100	4,175	15,063	8,652
合計		13	103	13,640	8,639	4,491	15,939	9,599

(9月～3月分について、次頁へ続く)

温泉地	区分	利用者数							合計
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
湯来温泉	宿泊	0	947	1,465	1,326	462	0	975	8,374
	日帰	0	7,937	8,316	7,411	3,826	0	6,492	57,082
湯の山温泉	宿泊	19	55	86	145	97	42	18	834
	日帰	55	6,180	6,730	7,210	2,509	31	5,688	54,040
小計	宿泊	19	1,002	1,551	1,471	559	42	993	9,208
	日帰	55	14,117	15,046	14,621	6,335	31	12,180	111,122
合計		74	15,119	16,597	16,092	6,894	73	13,173	120,330

## (2) 取組の現状

温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

取組	実施主体
インターネットなどに温泉地の観光情報等を掲載するほか、観光案内所にポスター・パンフレットを設置するなどの周知	施設所有者
湯来温泉へのシャトルバスの定期運行	施設所有者
湯来交流体験センターにおいて、シャワークライミングや登山、テントサウナなどの自然体験プログラムのほか、キャンプやBBQ、こんにやくづくりやクラフトづくり体験などのプログラムを実施	施設所有者

## (3) 今後の取組方策

今後は、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、湯ノ山明神と一体的に信仰の対象となってきたこと、また、江戸時代の領主の湯治場であったことなどの歴史を紹介し、長く親しまれてきた温泉であることを強くアピールする。また、地域の祭り等により広く集客を図るほか、以下の取組を進める。

取組	実施主体
歴史ある温泉街や文化財などを散策するプログラムの充実など	施設所有者等
各種イベント開催の充実（奥湯来を活かした田舎暮らし体験プログラムなど）	施設所有者等
温泉街や周辺地域の美化を推進	施設所有者等
温泉の効能や利用方法のPR方法を検討	施設所有者



▲ ホタル祭り



▲ 湯来フェス

## 8 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

### (1) 公共の用に供する施設の状況

公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
湯来温泉	公有施設	国道 488 号、県道 41 号線、公民館、宿泊・日帰り入浴施設、交流体験施設
	私有施設	宿泊・日帰り入浴施設、神社、寺
湯の山温泉	公有施設	国道 433 号、市道、宿泊施設、日帰り入浴施設、公衆トイレ、遊歩道、福祉会館（サンピアゆき）
	私有施設	宿泊・日帰り入浴施設、神社

### (2) 取組の現状

湯来温泉及び湯の山温泉において、高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

区分	施設	取組	実施主体
公有施設	道路	道路拡幅、舗装、歩道の確保等を行っている。	広島市
	建築物	手すりの設置や段差解消などの改善、整備を行っている。	
私有施設	建築物	旅館等において、段差の解消や手すりの設置等に努めている。	施設所有者

### (3) 今後の取組方策

湯来温泉及び湯の山温泉において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え以下の取組を進める。

区分	施設	取組	実施主体
公有施設	道路	必要に応じ、改修を検討する。	広島市
	建築物	市所有施設において、段差の解消や手すりの増設等を進める。	
私有施設	建築物	未実施の施設において、段差の解消や手すりの設置等を検討する。	施設所有者



▲ 湯来ロッジのバリアフリー

## 9 災害防止対策に係る計画及び措置

### (1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

湯来温泉及び湯の山温泉は、周囲を山林に囲まれ、西端から東北端まで太田川水系水内川が貫流している。

湯来温泉及び湯の山温泉のある広島市佐伯区湯来町では、昭和 26 年のルース台風による水内川の洪水や流域周辺での土石流によって、数多くの犠牲者や被害が発生し、その後も平成 11 年の豪雨、平成 17 年の台風 14 号、平成 18 年の台風 13 号により、護岸、道路及び住宅等が被害を受けた。

### (2) 計画及び措置の現状

湯来温泉及び湯の山温泉地区において、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

計画又は措置	計画又は措置の概要
広島市危機管理計画	自然災害や都市災害、事件・事故等の様々な危機に対して、市民の生命、身体及び財産を保護するため、広島市危機管理計画を策定している。
広島市地域防災計画	災害対策基本法に基づき、総合的かつ計画的な防災行政の推進を図り、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として、災害予防、災害応急対策及び災害復旧・復興に関する事項を定めている。
広島市水防計画	水防法に基づき、市域における水害を警戒・防ぎよ・軽減するため、水防上必要な事項を定めている。
土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき、土砂災害警戒区域・特別警戒区域が指定され、広島市地域防災計画において、警戒避難体制に関する事項等を定めている。
水内川洪水浸水想定区域の指定	水防法に基づき、水内川洪水浸水想定区域が指定され、地域防災計画において警戒避難体制に関する事項を策定

### (3) 今後の取組方策

湯来温泉及び湯の山温泉において、災害の防止を図るため、(2)の取組を継続する。

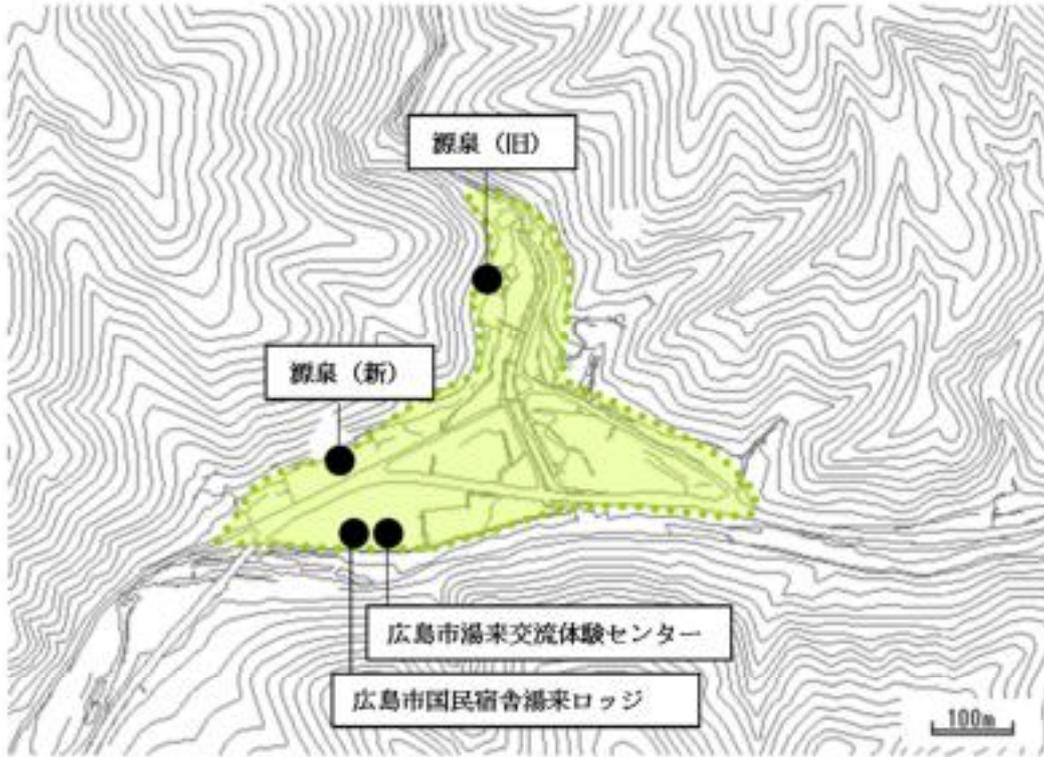
# 国民保養温泉地位置図



▲ 湯来温泉及び湯の山温泉位置図



# 国民保養温泉地域図



▲ 湯来温泉区域図



▲ 湯の山温泉区域図